

「姫君、お帰りなさい」

元領主水野家の子孫モニカさん

新宮城など巡る

元紀州藩新宮領主水野家の子孫、モニカ・水野・ペロイターさん(51)が16、17の両日、新宮市を訪れた。モニカさんはドイツ・リュウネブルク市視察団15人の案内役として来新。国史跡の新宮城跡と水野家墓所など先祖ゆかりの地を案内した。



モニカさんは14代・水野誠の娘、慈子(やすこ)さん(76)＝横浜市在住＝とドイツ人の父との間に東京で生まれ、12歳まで日本に在住。現在はドイツ・ハンブルクで暮らしている。日独語の通訳士として多方面で活躍するほか、ハンブルク独自協会理事として在日日本人の世話をしている。2010(平成22)年には息子、ペロイター健君(13)と来新し、市民と交流した。新宮を訪れたのは17歳の時を含め3度

雨の中、先祖の墓前で花を供えるモニカ・水野・ペロイターさん＝17日、新宮市橋本

目。

リュウネブルク市視察団一行は姉妹都市の徳島県鳴門市への訪問後、新宮市へ。16日に熊野速玉大社例大祭を見学した後、新宮秋まつりの踊りに参加。17日には新宮城跡、水野家墓所のほか、熊野那智大社、青岸渡寺なども見学し、新宮市福祉センターで開催された歓迎会に出席した。一行は伊勢市、京都市、奈良市なども巡り24日帰国する予定。

視察団の来新を提案

し、実現させたモニカ

さんは「14代・誠がハン

ブルクを旅行していて、私

がドイツ人との間に生ま

れ、今回、新宮にドイツ

のお客を連れて来られ

た。非常に感慨深く、うれ

しく思います。今度は新

宮の人にもぜひ私たちが

のまちに来てもらいた



新宮城跡を巡るドイツ・リュウネブルク市視察団一行

い」。初めて見た熊野速玉大社例大祭については「熊野は多数の宗教が集まって文化をつくっていると聞いたことがあったが、今回、そのほざまを見せてもらった」と話していた。

歓迎会で田岡実千年市

長は「我らが城主・水野

家姫君モニカ・水野・ペ

ロイターさん、ふるさと

新宮へようこそ、お帰り

なさい。日本とドイツの

懸け橋となられ、ご活躍

されるそのお姿は、市民

にとって大きな誇り」な

どあいさつした。

新宮市内のスポーツ用品店4店舗で、第1回新宮・那
浦天空ハーフマラソン大会(11月4日開催)の記念
シャツ＝写真＝の予約を受け付け中。締め切りは20日
(木)。引き渡しは11月1日(木)から始まる。販売価格
1,000円で、そのうち200円が災害復興支援金になる。
Tシャツはブラック、ホワイトの2色。サイズはS、